

感染症発生状況

平成30年11月14日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年11月5日（月）～11月9日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】405名 【職員】17名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】81名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数59名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（158名）、咳・鼻水（58名）、下痢・腹痛（37名）、発疹（9名）

疾病別：手足口病（22名）、気管支炎・肺炎（20名）、胃腸炎（15名）、溶連菌感染症（11名）、突発性発疹症（11名）

【職員】症状：熱（5名）、咳・鼻水（1名）、その他（7名）

疾病別：マイコプラズマ肺炎（3名）、その他（1名）

溶連菌感染症、突発性発疹症、手足口病が目につきます。インフルエンザはまだありません。職員も感染症に注意しましょう。

【症状別の発生状況】

手足口病 盛南地域で減少。厨川，河南，都南地域で増加しました。

気管支炎・肺炎 玉山，河北，盛南，河南，都南地域で増加しました。

胃腸炎 都南地域で減少。厨川，河北，河南地域で増加しました。

溶連菌感染症 河北地域で減少。河南，都南地域で増加しました。

突発性発疹症 厨川地域で減少。玉山，河北地域で増加しました。

【県の状況（10/29～11/4）】

手足口病は減少しましたが、県央地区で、8月下旬に警報値（定点あたり患者数5人）を超えた以降、報告数の多い状況が続いています。年齢別では1～5歳が多くなっています。なお、宮古及び二戸地区でもやや多くなっており、今後も注意が必要です。

伝染性紅斑（リンゴ病）は、県央地区で警報値（同2人）を超えています。夏季に流行し、秋に報告数が減少しますが、10月から例年よりも多い状況が続いているため、今後も注意が必要です。

インフルエンザは、今後の動向に注意が必要です。予防には、ワクチン接種や体調管理、こまめな手洗いが重要です。ワクチンは接種から効果が現れるまでに2週間程度かかるため、早めの接種が勧められます。接種については、事前に医療機関へご確認ください。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】